

夏休み宿題(美術館レポート) おうえん隊!!

—岡山県内の小・中学校、特別支援学校、ならびに適応指導教室の先生方へ—
例年、夏休み期間中、学校の宿題「美術館レポート」のために小中学生(特に中学生)が、美術館に来館する姿を多く見かけます。

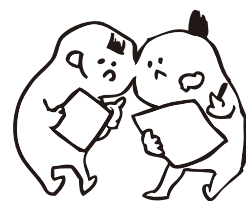
岡山県立美術館では、昨年に引き続き「夏休み宿題(美術館レポート)おうえん隊!!」を実施します。これは、「夏休みの宿題で来館した小・中学生の相談に美術館スタッフがのります!」というものです。学校の宿題で「美術館レポート」をだされる際、併せて児童・生徒のみなさんへお知らせください。

実施期間・時間：2019年8月27日(火)～30日(金)
各日とも10:00～16:00

場 所：岡山県立美術館 展示棟1階&2階展示室等

持 参 物：学校の宿題(美術館レポート)用紙・メモ用紙、筆記用具(但し、鉛筆かシャーペン) & 岡山の美術観覧券(高校生以下無料)

そ の 他：学校での宿題で「美術館レポート」をだされる際、裏面のマナーについて、事前に指導しておいていただけると幸いです。



お問い合わせ/岡山県立美術館
〒700-0814
岡山市北区天神町8-48
TEL 086-225-4800
<担当:学芸課 岡本>

「美術館レポート」で来館の小中学生のみなさんへ

夏休み、みなさんにはいろいろな体験をしてほしいと思います。そのいろいろな体験の中に「美術館体験」も入っているとうれしいです。

さて、夏休みの宿題「美術館レポート」などで、美術館を訪れる時のお願いです。

美術館というところは、「作品をたくさんの人にみて楽しんでもらう」と同時に、「作品を後世に伝える」という使命があります。みなさんが美術館へ来た時にマナーがあるのはそのためです。

<美術館マナーについて>

(1) 3つのマナーについて

美術館は、「全ての来館者と、作品を大切にするとこころ」なので、館内では、「声のボリュームに気をつける（大声をださない）」「落ち着いてゆっくり行動する（走らない）」「作品と適度な距離をとって鑑賞する（さわらない／あたらない）」というマナーがあります。

◇特に裸（ケースなどの中に入っていない）展示作品が多い場合「さわらない／あたらない」（作品との距離の保ち方）については、気をつけてくださいね。

◆2019年夏休み展示は、ハンズオン展示「目の目 手の目 心目の目 Part2」です。視覚以外の感覚器官を使って、積極的に作品を楽しむことができる展示となっています。普段美術館ではタブーとされている「作品を“触察（しょくさつ）”＝触ってみること」しながら鑑賞することができる展示です。新しいマナー「触察マナー」を身につける絶好の機会ですよ！

(2) 荷物について

展示室の中では、極力荷物は少ない方がベストです。ロッカーを使うのも一つの方法です（100円必要ですがあとで戻ってきます）。

◇例：ナップサックの場合、背負うと自分の荷物に自分の目が行き届かないので、他の来館者や作品にあたってしまう可能性もあります。手に持つことをおすすめします。

(3) 筆記活動について

展示室の中では、メモ程度の筆記活動は可能です。その時、筆記用具は鉛筆かシャーペンをお使いください（消しゴムの使用は不可となっています）。

また、筆記の時、展示パネルや展示ケースなどを、ついうっかり下敷き代わりにしやすいすい。展示パネルや展示ケースも作品の一部です。気をつけましょう。

できれば、下敷き代わりのバインダーを用意してきましょう。県美では、筆記活動用のバインダーも用意していますので、必要な場合は、各展示室入り口の監視員に申し出ましょう。

<追伸>

夏休みの宿題「美術館レポート」に困っていたら、岡山県立美術館「夏休み宿題（美術館レポート）おうえん隊！！」<実施期間：2019年8月27日（火）－30日（金）／時間は各日とも10：00－16：00>に参加してみましょ。宿題をするヒントがいっぱいあります。